

草津温泉：中山晋平と高野辰之の故郷を訪ねて

川井正子（さいたま市）

期 間：2013年7月1日～3日（3日間）

参加者：14名

費 用：合計 22,050 円

1泊目宿泊費 9,450円(65才超500円引き)

夕／宴会食、朝食バイキング、入湯税込

2泊目宿泊費 8,200円(65才超600円引き)

夕・朝食バイキング、入湯税込

交通費 バス代 往復 2,500円

ツアー参加費（昼食付） 3,000円

宿泊：中沢ヴィレッジホテル

リーダー：松田弘之

中山晋平は、晋平メロディーとも呼ばれる独特のスタイルで、日本最初の流行歌「カチューシャ」を初め「シャボン玉」や「ゴンドラの唄」など数多くの童謡・流行歌・新民謡など、生涯を通じておよそ3,000曲を作曲した。

高野辰之は、東日本大震災発生以降最も多く歌われたといわれる「故郷」のほか、「朧月夜」「春の小川」「紅葉」など、今なお多くの人々の心を引きつけてやまない唱歌や、全国100校を超す校歌を作詞した。

晋平と辰之の記念館は、千曲川がゆったり流れる中野市にあり、遺品や書簡、作品集など、数多くの功績とその生涯を紹介している。

行事：

- ★ 7月1日：到着後入浴、午後6時より宴会開始
旅行案内・旅行体験談ほかを予定
- ★ 2日：中山晋平と高野辰之ツアー予定
ホテル発9：00～ホテル着17：00ころ
（ホテル送迎バス利用・ガイド付）
- ★ 3日：早朝散歩(無料)：ホテル正面前発7：00
ガイドによるホテル周辺の森散策 約1時間15分
- ★ 帰宅バス：3日ホテル発 14：30

7月1日 夜の宴会で《カチューシャ》、《故郷》合唱

私達4人は、さいたま新都心駅から、ホテル専用のバスに乗り込み、この旅行に参加しました。バスの中で昼食をとり、快適に中沢ヴィレッジホテルに到着しました。八ッ場ダム周辺の道路整備が進み、走行時間

が以前より30～40分短縮されたそうです。チェックインを済ませ、ゆっくりと大浴場で温泉につかり、6時からの宴会に出席しました。



楽しい宴会



宴会ではカラオケ大会

最初に中山晋平の『カチューシャの唄』と高野辰之の『故郷』を全員で合唱しました。誰でもが歌える懐かしくて、ほのぼのと心温まるメロデーに、すっかり溶け込み、初めてこの会に参加する気おくれもなく、宴会を楽しめました。カラオケも歌が途切れることなく、《名月赤城山》、《暎の母》は科白の入った熱唱で一段と盛り上がりました。料理、お酒、雰囲気も最高で満足いたしました。

7月2日 晋平と辰之の故郷、信州中野を訪ねる

次の日はガイド付ホテルのバスで、晋平と辰之の故郷を訪ねるツアーに出発。



信州中野の蕎麦屋で昼食

途中、市を南北に流れている千曲川を車窓から眺め、遠方に広がる山脈に囲まれた中野市に昼ころ到着、盆地のせいか蒸し暑かった。

現地特産のサクランボ・佐藤錦などを即売している物産館に立ち寄った後、ガイドさんお勧めの田舎庵造りの蕎麦屋で昼食。手打ちの「おらが蕎麦」は歯ごたえ良く、とても美味しかった。



中山晋平記念館



晋平記念館庭園で記念撮影

晋平の記念館は正面ゲートにカリヨン（合鳴鐘）が配され、1時間ごとに晋平メロデーが次々と演奏されます。島村抱月、野口雨情、北原白秋、西城八らとの交流などが紹介されています。



高野辰之記念館

辰之の記念館は大きな暖炉に、ドイツ人の設計によ

る日本と西洋文化の融合された重厚な建物。

自然に恵まれた信州を背景に、素晴らしい人脈等が、明治、大正時代に彼らを生み出し、刺激し合い、数々の名曲を作ったのですが、そのパワーの凄さをまざまざと感じました。

7月3日 ホテル周辺の森を早朝散策で初体験



散策コース「睡蓮の池」

3日目の早朝はホテル周辺のベルツの森を散策。ホテルからゴム長靴と傘を借りて小雨の中を出かけました。森林の爽やかな空気を吸いながら案内人が木をゆすると、木のシャワーとなり我々はそれを傘で受けたり、木に耳を当て木の水を吸い上げる音を聞いたり、身体で直に感じる自然の営みの確かさに圧倒され、感動しました。このような、瑞々しい感覚を体験した事は、初めてのような気がします。ここに来て良かった。こんなに心が躍る体験はめったにありません。久しいことで、嬉しくなりました。



案内人の説明を聞く

ここに連れてきてくださったリーダーに感謝いたします。さまざまなお骨折りに、心からお礼申し上げます。

午後、全員専用バスで出発地まで送っていただき、無事帰宅しました。